

令和2年度



# 校長室だより5月号 No.2

宝達志水町立押水第一小学校 R2.5.9

自分が若い頃、自分と同じ年の松田聖子さんというアイドル歌手が「瑠璃色の地球」をいう楽曲を歌っていらっしゃいました。松田聖子さんは、私の青春時代にあったとても知名度の高い歌唱力のある歌手でした。その歌詞の中にこんなフレーズがあります。

「夜明けの来ない夜はないさ  
あなたがポツリ言う  
灯台の立つ岬で  
暗い海を見ていた」



一人のアイドル歌手が歌っているバラードでありラブソングではありますが、私はこの楽曲がとても気に入っています。そして、日本の今の状況にピッタリ当てはまっているように思います。今、コロナウイルス感染の危機に置かれている私たちは、まさに暗い海を見ながら夜明けが来るのを待っている状況です。

さらにこんなフレーズもあります。

「悩んだ日もある 悲しみに  
くじけそうな時も  
あなたがそこにいたから  
生きてこれた」



感染の不安が広がる中、自らの命をかけてコロナと戦っていらっしゃる医療関係、流通関係、公共交通機関の方々等のおかげで今、私たちが生かされているというメッセージを読み取ることができます。

先日、イタリアで医療関係者を自らの演奏で励ましている日本人のバイオリニストをテレビで見ました。イタリアは、皆さんもご存知の通り日本と比べものにならないくらい感染が広がっています。医療に携わっているの方々にとっては、まさに日々が気の抜けない戦いの場です。そういう方々の思いを汲み取り自分にも何かできないかと行動を起こした日本人がいることを知っても温かい気持ちになりました。

日本人は、東日本大震災の窮地を助け合って切り抜けたように、助け合っていい方向に持って行こうとする気持ちがあると思います。今、法律の規制があってもなくても関係なく、大きな問題を解決するためには、誰一人例外なく、解決に向けた行動をしていかなければいけないし、私たち日本人は、それができる国民であると思っています。

「夜明け」は、まもなくやってくると信じつつ、私自身も自分に何ができるかを考えつつ日々を過ごして行きたいと思います。感染防止につながることで、1日も早く通常の生活を取り戻すことができるよう、みんなで力を合わせ協力して頑張りましょう。

## ホームページ、緊急メール、DVDの活用について

長きにわたる臨時休業でご不便をおかけしています。コロナ感染の状況が日々変化していく中で、学校からの情報も日々変化しています。5月の学校行事も全く実施できずに全面休校となったことからお解りいただけるかと思えます。

学校からの情報は、ホームページを中心に発信しています。本当に突発的な情報は緊急メールでお知らせしていますし、ホームページでもご覧いただけるようにしています。

家庭学習については、週1回の郵送での宿題、同封している学級通信、DVDでご案内しています。

なお、緊急メールが届かない保護者の皆様、DVDが再生できない保護者の皆様、学校のホームページが閲覧できない保護者の皆様におかれましては、大変ご不便をおかけしまして申し訳ございません。その際は、学校に連絡していただければ幸いです。

よろしく願い致します。

## 学校園を整備しています。

校門からの坂道を4, 5メートル上ると学校園があります。昨年度は、あまり活用できませんでした。そこで、今年は全校児童が楽しんで栽培活動ができるよう職員で畑の整備をしました。各学年で収穫できる夏野菜を育てながら、自ら育て収穫し味わう体験活動ができると思います。



何分、畑仕事は素人の教員集団ですので、地域の方々のお知恵を頂きながら活動できればいいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、学校の職員や児童が何か質問をしてきた折には、どうかよいお考えを授けてやってください。

夢を生む学校園として1年、1年、成長していくことができればいいなと思っています。

## 上杉先生 自宅から授業



4月16日(木)、臨時休校になってからの登校日です。

5年生学級担任の上杉徹先生が、諸用でどうしても学校に来ることができませんでした。そこで、少しの時間を利用して上杉先生が、ご自宅のご自分のお部屋から授業をしてくださいました。本校初の試みでした。

5年生の皆さんの様子は、教室のタブレットを通して上杉先生が確認でき、上杉先生の姿は教室のテレビを通して児童は見ることができました。

5年生の児童は、リアルタイムで遠くの上杉先生とのやりとりができ、とても満足そうでした。授業後もとても面白かったと感想を言う児童が多かったです。今後どのような展開になるのかが楽しみです。